

令和 6 年度 作業療法学科
様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
作業療法学科	人	人	人	人	6 人	6 人	6 人	人	19 人	1.8 人	
計	人	人	人	人	6 人	6 人	6 人	人	19 人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9 割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8 割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・専門 基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	心理学	15	宇田倫子	兼任
		社会福祉学	15	河野清美	兼任
		情報処理Ⅰ	15	横山めぐみ 西本有衣子	専任
		情報処理Ⅱ	15	横山めぐみ 西本有衣子	専任
		医学英語	15	榊原康仁	専任
		健康科学	15	横山めぐみ	専任
		国語学	15	福井幸恵	専任
		対人援助学Ⅰ	15	福井幸恵	専任
		対人援助学Ⅱ	15	佐野道治	専任
専門基礎	体の構造と機能および心身の発達	解剖学Ⅰ	15	宇野広樹	兼任
		解剖学Ⅱ	15	宇野広樹	兼任
		解剖学実習	30	宇野広樹	兼任
		解剖学演習	15	佐野道治	専任
		生理学Ⅰ	15	永瀬佳孝	兼任
		生理学Ⅱ	15	永瀬佳孝	兼任
		生理学実習	30	永瀬佳孝	兼任
		運動学Ⅰ	15	津田勇人	兼任
		運動学Ⅱ	15	津田勇人	兼任
		運動学実習Ⅰ	15	川崎和宏	専任
		運動学実習Ⅱ	15	川崎和宏	専任
		人間発達学	15	林美恵子	兼任
		病理学概論	15	小畑俊男	兼任

	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	15	酒林康雄	兼任
		リハビリテーション医学	15	塚原正志	兼任
		一般臨床医学Ⅰ	15	小畑俊男	兼任
		一般臨床医学Ⅱ	15	礪崎耕次	兼任
		内科学	15	礪崎耕次	兼任
		整形外科	15	榑原康仁	専任
		神経内科学	15	川崎和宏	専任
		精神医学	15	石島聡子	兼任
		小児科学	15	尾崎禮子	兼任
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	15	川崎和宏	専任
		保健医療福祉概論	15	川崎和宏	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法学概論	15	福井幸恵	専任
		基礎作業学	15	佐野道治	専任
		基礎作業学実習Ⅰ	15	榑原康仁	専任
		基礎作業学実習Ⅱ	15	加藤和宏	兼任
		基礎作業学実習Ⅲ	15	高市俊史	兼任
	作業療法管理学	作業療法管理学	15	福井幸恵	専任
	作業療法評価学	身体機能作業療法評価学Ⅰ	23	西本有衣子	専任
		身体機能作業療法評価学Ⅱ	23	川崎和宏 榑原康仁	専任
		精神機能作業療法評価学	15	佐野道治	専任
		身体機能作業療法評価学実習	30	川崎和宏	専任
		精神機能作業療法評価学実習	15	福井幸恵 佐野道治	専任
	作業療法治療学	身体機能作業療法治療学Ⅰ	15	榑原康仁	専任
		身体機能作業療法治療学Ⅱ	15	榑原康仁	専任
		精神機能作業療法治療学	15	福井幸恵 佐野道治	専任
		発達過程作業療法治療学	15	宮嶋愛弓 富士しおり	兼任
		高齢期作業療法治療学	15	杉原勝美	兼任
		高次脳機能作業療法治療学	15	川崎和宏	専任
		身体機能作業療法治療学実習Ⅰ	30	榑原康仁	専任
		身体機能作業療法治療学実習Ⅱ	30	榑原康仁	専任
		精神機能作業療法治療学実習	30	福井幸恵 佐野道治	専任
		発達過程作業療法治療学実習	15	幸福秀和	兼任

		作業療法総合演習Ⅰ	8	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		作業療法総合演習Ⅱ	8	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		作業療法総合演習Ⅲ	8	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		日常生活活動学Ⅰ	15	横山めぐみ	専任
		日常生活活動学Ⅱ	15	横山めぐみ	専任
		義肢装具学	15	西出義明	兼任
		職業リハビリテーション学	15	佐野道治	専任
		福祉用具学	15	横山めぐみ	専任
	地域作業療法学	地域作業療法学・基礎編	15	西本有衣子	専任
		地域作業療法学・応用編	15	西本有衣子	専任
	臨床実習	見学実習Ⅰ	120H	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		見学実習Ⅱ	40H	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		臨床評価実習	160H	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		臨床総合実習	720H	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		実習セミナーⅠ	8	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任
		実習セミナーⅡ	8	福井, 佐野, 川崎, 横山, 西本, 榊原	専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
見学実習Ⅰ： 患者への対応等についての見学	1年後期	作業療法学概論	1年後期
見学実習Ⅱ： 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションにおける臨床見学	2年後期	地域作業療法学・基礎編 地域作業療法学・応用編	1年後期 2年前期
臨床評価実習：患者の状態等に関する評価を実施する実習	2年後期	実習セミナーⅠ	2年後期
臨床総合実習：治療実践・治療効果判定についての実習	3年通年	実習セミナーⅡ	3年通年

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
------	------	----

	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
○	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	—
委員名（委員長）	—
組織の開催頻度	—
組織の取り組み内容	—
	—
	—

自己点検・評価結果の公表	H Pで公表（URL：https://minohsenmon.jp）
--------------	------------------------------------

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	—
	委員構成等	—
	改善の仕組みの実際	—

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

シラバス記載内容を改善するための仕組み、自己点検・評価を行う体制づくりについて検討していきたいと考えております。